

MITSUBISHI 三菱電機 Changes for the Better

宇宙新聞

宇宙時代の地球人を育てる



「ひまわり8号」打ち上げ取材

二〇〇四年十月八日(日)七日・種子島宇宙センター

H-II 記者・鈴木梨々花

スケジュール

- 一日目
 - 21時15分 アーバンホテル集合
 - 22時30分 就寝
- 二日目
 - 6時15分 朝食
 - 7時 ホテル出発
 - 7時30分 高速船・鹿児島港
 - 9時5分 高速船・西え表港
 - 12時15分 鉄砲館見学と予習
 - 12時15分 専用バス・西え表港ターミナル
 - 13時25分 長谷公園着
 - 14時16分 打ち上げ見学
 - 14時40分 専用バス・長谷公園発
 - 15時50分 西え表港ターミナル着
 - 16時45分 高速船・西え表港
 - 18時20分 高速船・鹿児島港
 - 18時30分 解散(港での入)



▲ ひまわり8号の打ち上げ

二〇〇四年十月七日十四時十六分、ひまわり8号がH-IIAロケットに搭載されて打ち上げられました。打ち上げは無事成功しました。雲一つなく、固体燃料ブースターが切りはなされるまで見ることができました。長谷公園で打ち上げを待っている間、何人かの人に三つの質問に答えてもらいました。一つ目の質問は、「ひまわり8号についてどう思っていますか?」です。「成功する」といい、「すくせいでいいので天気予報が良くなる」といふ答えがでました。二つ目の質問は「宇宙に興味をもった理由は何か?」です。「夜、月を見て月まで何kmか考えた時、自分の車が走った距離と同じくらい1ヶ月が意外と近いと感じたから。小学校五、六年の時に校庭からロケットの打ち上げを初めて見た」という答えが出て、校庭からロケットの打ち上げが見えるのは、良いなと、私は思いました。最後の質問は、「どうして、今日、ロケットの打ち上げを見に来たのか?」です。「ひまわり8号が打ち上がるのを見たいから」と言ったり、「た人もいました。仕事で打ち上げの仕事をするため」と



▲ ロケット雲

言った。ひまわり8号の開発や設計にたずさわった方もいて、直接取材でお話を聞けてうれしかったです。私はロケットの打ち上げを見て、ロケットが飛ぶように、ただまっすぐ、夢に向かっていけたらいいなと思いました。そして夢がくっきりしました。私の夢は、「いつか火星に人類初めて着陸したい」です。火星には有機物があるといわれているので、有機物で実験をしたいです。今までは、宇宙飛行士にならず、宇宙に行きたい、と思っていました。宇宙のどこに行くのか、など夢や目的を、はきりきりなく、とはいけないなとひまわり8号を開発した人達の、ことを考えて思いました。なぜなら、「こんな衛星をつくりたい、こんなことをしよう」と目的がはっきりしたのでひまわり8号ができたと思っただけです。宇宙という、いろいろな分野があります。いろいろな宇宙の分野、天文、宇宙開発、生命、物理などに目を向けて、どんどん夢を、くぐらましていきたいと思います。

長谷公園に行くまで、たくさんの人と交
流しました。ホテルから鹿児島港まで行
くタクシーの中、運転手さんが、鹿児島
からも打ち上げが見えることを教えてく
だしました。また、高速船乗り場では
MH工の職員の方に声をかけられまし
た。何とこの方は昔YACの団員だった
ので、とてもおもしろかったです。
高速船「トツロ」に一時間半ほど乗
って、ヤブと種子島につきました。ま
最初に鉄砲館へ行きました。種子島は日
本で初めて鉄砲が伝来したところだ
受け付けの係の方が本物の鉄砲の重さを
体感することができました。アフリカの鉄砲
を持ってきたりもしています。意外と重く、
昔の人はこんな重い物をもって戦って
たんだと思います。おどろきました。
鉄砲館にある会議室で西え表市役所
広報担当課市民生活課の上妻俊介さんが
ら、取材の心構えを教えてくださいまし
た。写真をとる時は、足を片ははにひら
き、わきをしめると、写真がぶれずに写
ること、ズームはできるかぎりせず、自
分が動くこと、キム張するかもしれない
けれど、笑顔で取材をすること、メモを
とる時はメモばかりとるのではなく、大
切なことをまとめ、相手の顔を見なが
ら取材をすることが大切。など、その他
たくさんの取材のポイントや記事のつく
り方を教えていただきました。
本日に、記者として働いている方に
お話をきいて、ためにな、たと思いま
す。また今度、取材をする機会があつたら
上妻さんに教えていたことを活用
して、良い記事をかきたいです。

お昼は、井元（いのもと）というお店
に行きました。私達、三人はみんな
親子丼を食べました。親子丼を待つ
ている間に、おいしい安のういもで作
った大学いもを店員さんが作ってくだ
りた。大学いももおもしろいです。大学
いもを食べながら、打ち上げのカウ
ンタウニング。この打ち上げのあと
どんな言葉を使うか、考えました。結
局、「かんぱんぱん」になりました。打
ち上げる時に私達の思いが届いてい
たと思います。親子丼はともおいし
かったです。食後には、自家製のアイ
スクリームもサーブしていただきました。
スクリームもおいしい、安のういも、む
らさきも、パッションフルーツの味
でどれもおいしかったです。私が、
に入った味は安のういも味です。本物
の安のういもを食べているようでした。
種子島の方々はみんな親切で、お
から港まで送ってくれました。西え表
スに乗ると、ほぼ満席でした。西え表
港から中種子の長谷公園まで一時間
くらい。外の景色は時々海があらわれ
てきれいでした。また、さとうきび畑
やさつまいも畑もたくさんありま
す。あ、あ、南あつた、ぽいと思
国、ぽいと思いいました。

トイレ休けいの所から
▼見えた海の景色



▲遊具の上のから、ガリの上に見え
のロケットの影が
が打ち上げ場、種子
島の美しい発射場
も、見えました。

長谷公園に着いた時はたくさん
にぎわっていました。長谷公園はな
になつていたので、人の頭でロケッ
見えない！というので、人がありま
とてもエフサされているなと思
この日は、少し風がふいていたので
あまり大きい発射音は聞こえな
ように打ち上げが聞こえました。
今度、種子島といえは「ロケット発
射場」と思っています。海、植物、
食べ物など種子島のみ力が少しか
た気がします。今回の活動で感じた
ことを、これから様々なことに生か
していきたいです。

▼ロケット雲

